

科目名	国際関係学演習（1～3年生用）	科目コード	30960
-----	-----------------	-------	-------

学科名・学年	留学生・日本人（全学科共通）
担当教員	羽賀 友信(地球ラボ特命教授)
区分・単位数	選択・1単位
開講時期・時間数	通年，15回【内訳：講義2時間，演習13時間】
教科書	
補助教材	ビデオや聴解教材、新聞、雑誌等。
参考書	JTB 絵ときシリーズ「見てわかる日本」

【A．科目の概要と関連性】

世界を舞台にした技術者を目指して留学生と日本人学生が相互の文化理解力を養いグローバルなコミュニケーション能力を身につけ、情報発信として最後にホームページにて公開する。それらの技能をバランスよく身に付ける事を目指す。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は、長岡高専の学習・教育目標の(B)に主体的に関わる。

この科目の各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
国際比較の視点から日本の文化や多様な国際文化を理解する	60%	b 1
国際関係の視点から相互の文化理解の促進に役立つ情報発信能力を身に付ける	40%	g 1

【C．履修上の注意】

1～5年生の選択者が一斉に受講する。積極的な参加を期待する。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（0%）

その他の試験（0%）

レポート（50%）

その他（ホームページの作成等 50%）

【E. 授業計画・内容】

通年（隔週開講）

回	内容	備考
1	講義：ガイダンス（文化理解力の意義）	
2	自分に取り組む課題テーマの選定	参考書参照
3	自分が選択したテーマについてディスカッション	
4	テーマに関する情報集種	
5	〃	
6	〃	
7	情報を集約し、報告書作成	
8	〃	
9	〃	
10	講義：国際理解プレゼンについてガイダンス	
11	それぞれの報告書の表現手法について検討	
12	自分の報告書を元に情報の共有に向けた編集作業	
13	〃	
14	〃	
15	まとめ：成果物報告・発表	

科目名	国際関係学演習（４・５年生用）	科目コード	30960
-----	-----------------	-------	-------

学科名・学年	留学生・日本人（全学科共通）
担当教員	羽賀 友信(地球ラボ特命教授)
区分・単位数	選択・1単位
開講時期・時間数	通年，15回【内訳：講義2時間，演習13時間】
教科書	
補助教材	ビデオや聴解教材、新聞、雑誌等。
参考書	JTB 絵ときシリーズ「見てわかる日本」

【A．科目の概要と関連性】

世界を舞台にした技術者を目指して留学生と日本人学生が相互の文化理解力を養いグローバルなコミュニケーション能力を身につけ、情報発信として最後にホームページにて公開する。それらの技能をバランスよく身に付ける事を目指す。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は、長岡高専の学習・教育目標の(B)に主体的に関わる。

この科目の各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
国際比較の視点から日本の文化や多様な国際文化を理解する	60%	B 1
国際関係の視点から相互の文化理解の促進に役立つ情報発信能力を身に付ける	40%	G 3

【C．履修上の注意】

1～5年生の選択者が一斉に受講する。学習活動全般においてリーダーシップが求められる。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験（0%）

その他の試験（0%）

レポート（50%）

その他（ホームページの作成等 50%）

【E．授業計画・内容】

通年（隔週開講）

回	内容	備考
1	講義：ガイダンス（文化理解力の意義）	
2	自分に取り組む課題テーマの選定	参考書参照
3	自分が選択したテーマについてディスカッション	
4	テーマに関する情報集種	
5	〃	
6	〃	
7	情報を集約し、報告書作成	
8	〃	
9	〃	
10	講義：国際理解プレゼンについてガイダンス	
11	それぞれの報告書の表現手法について検討	
12	自分の報告書を元に情報の共有に向けた編集作業	
13	〃	
14	〃	
15	まとめ：成果物報告・発表	